



Hewlett Packard
Enterprise



Hewlett Packard Enterprise

日本ヒューレット・パカード 会社案内

Leading Edge to Cloud Company

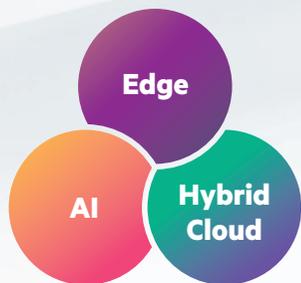
**HPEは、Edge to Cloudカンパニーとして、
お客様のビジネス変革と持続可能な社会の実現に貢献します。**

エッジから、データセンター、クラウドまで——

Hewlett Packard Enterpriseは、お客様へ一貫してクラウド体験を提供できる
新時代のプラットフォームマーへと生まれ変わりました。

第3のクラウドとして新しい市場を創造した HPE GreenLake Edge-to-Cloud Platformは、
単一のクラウド運用モデルとクラウド体験をあらゆる場所で実現し
お客様が求める理想のハイブリッドクラウド環境を実現します。
オンプレミスかパブリッククラウドか、という議論はもはや必要ありません。

日本ヒューレット・パッカード (HPE Japan) は、
「Edge」で人とモノを安全に接続し、正しくデザインされた「Hybrid Cloud」を実現し、
「AI」の活用によりデータの価値を最大まで引き出して
お客様のビジネス変革と成長戦略をサポートするとともに、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



HPE GreenLake Edge-to-Cloud Platform

日本ヒューレット・パッカード合同会社
代表執行役員社長
望月 弘一



Edge

エッジで生まれたデータから、いかにビジネス価値を創造するか

HPEは“エッジ”を、人、場所、モノとそれらのデータが交わる場所と広く定義しています。IoTデバイスやスマートデバイスが使用される環境から、宇宙ステーションで活躍するサーバーに至るまで、エッジで生成される様々なデータを「リアルタイムかつセキュアに」処理する重要性はますます高まっていくでしょう。エッジこそ、まさにイノベーションとインスピレーションの最前線なのです。

HPEのエッジソリューション

コネクティビティ

HPE Aruba Networking

最新のWi-Fi 6E接続によるモバイルとIoTに最適なネットワーキングを実現します。

EdgeConnect SD-WAN/HPE Aruba Networking SSE

優れた接続性とセキュリティを両立させる独自のSASEソリューションにより、場所を問わないデータアクセスを実現します。

* HPEは、2024年1月にJuniper Networks社の事業統合を発表しました。

エッジインフラ

HPE GreenLake for Private Cloud Business Edition

セルフサービス&セルフマネージド型のモダンなプライベートクラウド環境を必要な場所に構築できます。

HPE Edgeline コンバージドエッジシステム

データセンターレベルのコンピュートと管理機能をエッジで実装しITとOTの統合を実現します。

分散環境の管理

Aruba Central

クラウドベースのネットワーク管理により、他拠点のネットワークを単一のダッシュボードから管理できます。

HPE GreenLake for Compute Ops Management

エッジからデータセンターまで、あらゆる環境のサーバーをクラウドから一元管理可能なSaaS型マネジメントサービスです。



Hybrid Cloud

お客様の戦略に合致した「理想のハイブリッドクラウド環境」へ

ハイブリッドクラウドにおいて最も重要なことは、「クラウド体験」から得られるビジネス価値の最大化です。HPEは、プライベートクラウドとパブリッククラウドの相互運用とワークロードのシームレスな連携、場所を意識させないデータアクセス、モダンでスマートな運用管理モデルの提供を通じて、お客様に最適なハイブリッドクラウド環境をデザインします。

HPEのハイブリッドクラウドソリューション

ハイブリッド/マルチクラウド管理

クラウドコンソール

多数の技術要素で構成されるハイブリッド/マルチクラウド環境の安定運用に寄与する、モダンなクラウドベースの管理プラットフォームを提供します。

オブザーバビリティツール OpsRamp

ITリソースとサービス全体を可視化し、その健全性を維持・向上させるベンダーニュートラル/クラウドニュートラルのAIOpsを実現します。

ランニングコスト最適化

アドバイザリーサービス&コンサンプションモデル

HPE Servicesのエキスペートが、HPE GreenLakeによるas a Service型(月額従量制)のシステム導入と、ライフサイクル全体を見通したコスト最適化を支援します。

HPE Sustainability Insight Center

二酸化炭素排出量、ITエネルギー消費量を可視化するダッシュボードの提供を通じて、お客様のカーボンフットプリントの削減に貢献します。

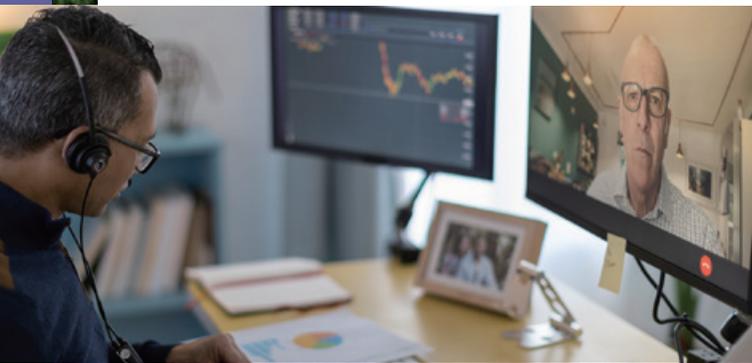
レジリエンシー

アドバイザリーサービス

予期せぬ災害やサイバー攻撃などに直面した際に、ビジネスを速やかに正常な状態に回復するための戦略策定と環境整備を支援します。

HPE GreenLake for Backup and Recovery/ Disaster Recovery

ハイブリッドクラウド環境におけるデータとワークロードの保護を容易にするSaaSとして、ビジネスレジリエンシーの強化に威力を発揮します。



AI

エンタープライズグレードのAIモデル開発とビジネス活用

AIは、前例のない規模で生産性向上とコスト削減に結びつくイノベーションをもたらします。HPEは、「AIネイティブ」のアプローチを採用し、データ収集から、AIモデル開発、推論の実行まで、お客様のAIライフサイクル全体を一貫するデータ基盤/データフローを実現。さらに、AIモデルの全社レベルへのスケールアップを通じて、より大きなビジネスの成果に結びつけます。

HPEのAIソリューション

エンタープライズAI

HPE Ezmeral Software

クラウドネイティブテクノロジーとビッグデータを融合させたプラットフォームの提供を通じて、データ収集から、AIモデル開発、推論の実行までを一貫してサポートします。

HPE ProLiant Gen11 Optimized for AI

最大4基のダブルワイドGPUを搭載可能な標準サイズの2Uサーバーを提供、AIモデルのトレーニング環境の整備を手軽に行えます。

AI at scale (大規模AI開発)

HPE Machine Learning Development Environment

数百規模のGPUリソースをフルに活用して大規模なトレーニングを実行し、圧倒的な速度で高精度なAIモデルの開発を可能にします。

Supercomputing Solution for Generative AI

大規模言語モデルに象徴される生成AIのトレーニングとチューニングを高速化するために、HPEが誇る世界トップクラスのスーパーコンピューティング環境を提供します。

経験と知見

Cray、SGIから継承した大規模HPC環境の知見

HPEには、大規模HPC環境における世界トップクラスの人材と知見が集約されています。世界初のエクサスケールスーパーコンピューターの実現した高度な技術力をお客様のAI戦略の推進にご活用ください。

アドバイザリーサービス

HPE ServicesのエキスパートがAIやLLMをビジネス価値に結びつけ、お客様のAI活用の立ち上げを支援するとともに、AI活用につながるデータの収集・蓄積・加工を担うデータパイプラインの最適化を実現します。

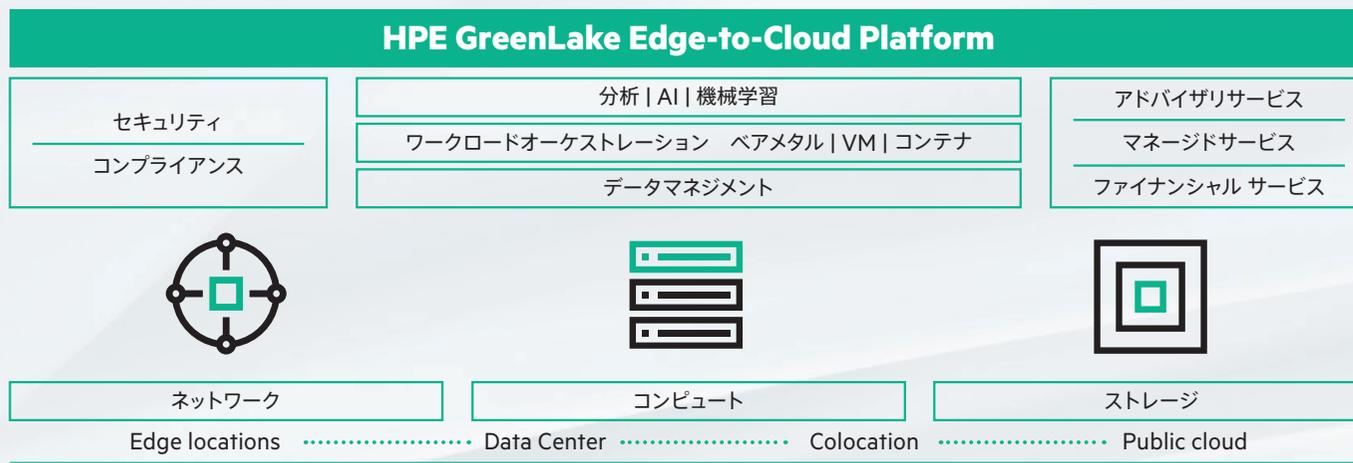


米国エネルギー省オークリッジ国立研究所のスーパーコンピューター Frontier

HPE GreenLake & HPE DX Platform

「第3のクラウド」が実現する理想のハイブリッドクラウド環境

HPEは、HPE GreenLake Edge-to-Cloud Platformの提供を通じて、単一のクラウド運用モデルとクラウド体験をあらゆる場所で実現し、今まさに新しい市場を創造しています。お客様は、エッジからクラウドにわたるデータを有機的につなぎ、業界をリードするHPE DX Platformとともに、あらゆる場所でデータから価値を創造するための理想のハイブリッドクラウド環境をデザインできます。



エンドツーエンドのクラウド体験

HPE GreenLakeは、ベンダーニュートラル、クラウドニュートラルを実現しつつ、エッジからデータセンター、コロケーション、パブリッククラウドまでを「単一のクラウド運用モデル」で利用できる独創的なソリューションとしてポートフォリオを拡充させています。

コンサンプションモデルと運用支援

お客様は、ハイブリッドクラウド環境を理想的な形にデザインし、これを構成するHPE DX Platform製品群をマネージドサービスとともにコンサンプションモデル(月額従量制)で利用できます。この新しい「クラウド体験」は世界中で急速に支持を拡大しています。

セルフサービス型クラウドポータル

ハイブリッドクラウド環境で提供されるサービスに、適切にリソースを割り当てて安定的に運用するためのセルフサービス型のクラウドポータルを提供しています。お客様は、ITサービスの品質を高めながら運用負荷を低減することができます。



HPE ProLiant Gen11サーバー



HPE Synergy



HPE SimpliVity



HPE Primera



HPE Alletra Storage



HPE ProLiant
MicroServer



HPE Edgeline
Converged Edge System



HPE Aruba Networking



HPE Ezmeralソフトウェア

Living Progress

人々の生活と働き方の向上

「人々の生活と働き方を向上させる」というパーパスの実現に向け、未来のテクノロジーに対する需要に持続的に応えること。それが私たちHPEのミッションです。Living Progressは、サステナビリティ(持続可能性)への対応力を高めるため、環境、社会、コーポレートガバナンス(ESG)の課題解決に向けたHPEの戦略的なアプローチとして以下の3つの柱で構成されており、様々な取り組みを推進しています。

ネットゼロの加速

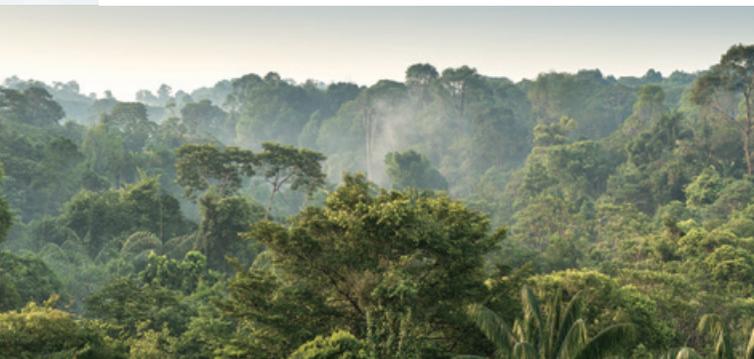
HPEは2040年までにバリューチェーン全体でGHG(温室効果ガス)排出量のネットゼロを達成することを目指しています。そのために、2030年までに事業活動で使用する電力を全て再生可能エネルギーに切り替えます。さらに、ITソリューションの環境効率向上、IT製品のサーキュラーエコノミー(再利用・再資源化)への取り組みで業界をリードしています。HPEはScience Based Targetsイニシアチブ(SBTi)からネットゼロ目標の認定を取得した世界初のグローバルIT企業の1社です。

人への投資

HPEは競争の激しい今日のビジネス環境で最前線に立ち続けるためには、多様なバックグラウンドを持つ社員で構成される意欲的なコミュニティの形成が必要であると考えています。そのために、社員に成長と昇格の機会を積極的に提供し、データを用いた公正な評価を行い、異なる視点やアイデアを持つことが評価される文化を醸成することで、イノベーションと変革を推進します。DEI(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)はHPEにとって最優先の取り組みのひとつです。

誠実な運営

企業が将来にわたり持続し成長していくためには、極めて高い倫理基準と責任ある経営が必要であるとHPEは考えています。そのため社員に対して、コーポレートガバナンスと定期トレーニングを通じて倫理的な行動の徹底を図っています。ガバナンスや倫理的行動の浸透をバリューチェーン全体にも進めており、こうした長年にわたる取り組みが評価され、HPEは5年連続で「世界で最も倫理的な企業」の1社に選出されました。また、HPEはトムソン・ロイター財団から「奴隷撲滅賞」を2度受賞した唯一の企業でもあります。



Hewlett Packard Enterprise

Hewlett Packard Enterprise (HPE) の前身である Hewlett-Packard Company (HP) は1939年に設立されました。カリフォルニア州に今も残る創業のガレージは、シリコンバレー発祥の地として知られています。HP は数々のイノベーションを創造し、自らの変革を繰り返してきました。そして、2015年の分社によりHPE が事業を開始し現在に至ります。



社名 日本ヒューレット・パッカード合同会社 (HPE Japan)
設立 1999年 (平成11年) 7月
代表執行役員社長 望月 弘一
資本金 10億円
本社 東京都江東区大島2丁目2番1号
URL www.hpe.com/jp

社名 Hewlett Packard Enterprise (HPE)
設立 2015年
社長 兼 CEO アントニオ・ネリ (Antonio Neri)
活動拠点 世界170か国以上
本社 米国テキサス州ヒューストン
URL www.hpe.com

Hewlett Packard Enterprise

日本ヒューレット・パッカード合同会社
〒136-8711 東京都江東区大島 2-2-1

hpe.com/jp

© Copyright 2024 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。日本ヒューレット・パッカード製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。日本ヒューレット・パッカードは、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱字に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

a00138498jpn 記載事項は個別に明記された場合を除き2024年3月現在のものです。